

緞帳が上がり始めることを合図にしていたかのように、会場全体から自然と拍手が沸き起こり、ざわついていた観客席が瞬時に静寂に包まれ、厳かな空気の中で司会の生徒から開会宣言が行われました。10月26日(木)に鎌倉芸術館大ホールにおいて、「大船高等学校40周年を祝う会」が行われました。第一部は「お礼の会」として、これまで在校生、卒業生たちがお世話になった8団体(JR北鎌倉駅、江ノ島電鉄バス、湘南モノレール、長後製パン、ほっともっと鎌倉手広店、高野台自治会、同窓会、PTA)に対し、本校生徒会執行部の生徒から感謝状を贈呈し、感謝の意をお伝えさせていただきました。また、同窓会から記念品(天吊りプロジェクター4クラス分)の贈呈を頂きました。同窓会の皆様、誠に有難うございました。長年に渡り本校を支え続けてくれた沢山の方々がいからこそ、本校では40年間の教育活動を無事に推進することができ、その時々々の生徒たちが充実した学校生活を送れたのだと思います。これまでお世話になりました皆様方に、校長として改めて感謝を申し上げます。引き続き現在の生徒たち、未来の生徒たちへのご支援をよろしくお願いいたします。第二部は、「大船高校の過去・現在・未来」をテーマに「発表会」が行われました。前半は、生徒会執行部による大船高校の歴史の調査や、現在の教育活動への生徒の満足度、生徒が期待するこれからの本校の姿などのアンケート調査の結果発表などが行われました。後半は、軽音楽部のライブ、吹奏楽部のコンサート、野球部の漫才、剣道部の日本剣道形の演武、ダンス部のダンスパフォーマンス、合唱部のコーラスによる発表が行われ、最後は全校生徒による校歌斉唱で幕は閉じられました。司会や発表者の生徒の楽しいトークや極めて完成度の高い各部活動の演出に、会場は笑い声と拍手と大歓声に包まれていました。自分たちの仲間が価値あるものに真剣に取り組んでいる姿を知ることが、同じ部活動、委員会活動でなければなかなか機会がありません。「発表会」でそれができたことは、生徒たちにとっては貴重な経験であり、生徒一人ひとりの所属意識の涵養や自己実現への礎としてとても役立つものになったと思います。また、誰に命じられたわけでもなく全員で大合唱する生徒たちの姿には、大船高校の生徒であることの誇りと自信さえ感じました。この周年行事により、生徒たちは一段と成長してくれたと感じました。生徒の皆さん、この度は周年行事への参加と協力をありがとうございました。これからも大船高校をどうぞよろしくお願いいたします。

60年に一度の祭りのスタートは小坂小学校からでした。10月29日(日)に、洪鐘弁天大祭が北鎌倉地区で開催されました。円覚寺にある洪鐘が江島神社の弁財天の啓示によって完成したことを祝い1301年に行列祭として始まったこのお祭りには、出発式でダンス部がチアリーディングの演技発表を行い、ボランティア同好会がサポートスタッフとしてパレード誘導や参加者の安全確保等を行いました。地域の歴史や文化を直接体験できたことや地域の人たちと触れ合えたことは、生徒たちの貴重な経験になったことと思います。今後も様々な機会を通じて、生徒たちには地域貢献活動に積極的に参加をしてほしいと思います。